

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

- 昭和 26 年 6 月 愛知県より菊武タイピスト学校（現：菊武ビジネス専門学校）設置認可
- 昭和 28 年 2 月 愛知県より学校法人高木学園（現：菊武学園）設立認可
- 昭和 37 年 4 月 守山女子商業高等学校（現：菊華高等学校）開設
- 昭和 40 年 4 月 名古屋女子商科短期大学（現：名古屋経営短期大学）開設
- 昭和 43 年 4 月 守山女子商業高等学校に通信制課程開設
- 昭和 44 年 4 月 菊武幼稚園開設
- 昭和 63 年 4 月 名古屋女子商科短期大学に経営情報科開設
- 平成 4 年 4 月 守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、全日制課程普通科開設。
- 平成 7 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンス開設
- 平成 12 年 4 月 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部開設
- 平成 16 年 4 月 名古屋産業大学大学院前期（修士）課程（環境マネジメント研究科）開設
名古屋産業大学環境情報ビジネス学部に人間環境マネジメント学科増設
- 平成 19 年 4 月 名古屋経営短期大学ビジネス実務学科・人間情報学科の募集を停止し、2 学科を統合した形の総合ビジネス学科を開設。
名古屋産業大学大学院後期（博士）課程（環境マネジメント研究科）開設。
名古屋経営短期大学子ども学科開設。
- 平成 20 年 4 月 名古屋経営短期大学健康福祉学科開設。
- 平成 23 年 4 月 稲葉保育園開設（尾張旭市指定管理事業）
菊華高等学校にスポーツアクトコース開設
- 平成 24 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンスの校名を変更
専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院に改称する。
- 平成 26 年 4 月 名古屋経営短期大学総合ビジネス学科の募集を停止し、未来キャリア学科開設。
- 平成 27 年 2 月 菊華高校通信制課程普通科（単位制）開設認可

2. 設置する学校の学部、学科および各学校の入学定員、現員数

平成 28 年 4 月 1 日現在

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
名古屋産業大学大学院	環境マネジメント研究科	前期課程 10 人	20 人	7 人	18 人
	環境マネジメント専攻	後期課程 3 人	9 人	2 人	3 人
名古屋産業大学	環境情報ビジネス学部 環境情報ビジネス学科	190 人	785 人	98 人	398 人
名古屋経営短期大学	未来キャリア学科	100 人	200 人	84 人	130 人
	総合ビジネス学科	募集停止	—	—	2 人
	子ども学科	80 人	240 人	30 人	119 人
	健康福祉学科	60 人	120 人	25 人	62 人

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
菊華高等学校	全日制課程情報ビジネス科	270 人	810 人	66 人	193 人
	全日制課程普通科	90 人	270 人	232 人	672 人
	通信制課程商業科	150 人	450 人	168 人	498 人
	通信制課程普通科(単位制)	80 人	240 人	4 人	18 人
菊武幼稚園		69 人	209 人	70 人	216 人
菊武ビジネス専門学校	商業実務専門課程	80 人	80 人	16 人	16 人
	商業実務高等課程	240 人	720 人	168 人	498 人
専門学校名古屋リエンジニアリング &フラワー・ビューティ学院	商業実務専門課程	160 人	280 人	150 人	306 人
	文化教養専門課程	40 人	80 人	20 人	38 人
合 計		1,662 人	4,753 人	1,140 人	3,187 人

3. 役員に関する事項

当学園の平成 29 年 3 月 31 日現在の選任区分別理事及び監事は以下のとおりです。

寄附行為の理事定数は 8~11 人、監事定数は 2~3 人で、欠員はありません。

- 1 号理事（教職員）： 伊藤 雅一、山岸 鳴門、鈴木 悦子
 2 号理事（評議員）： 井元 明正、渡邊 哲郎
 3 号理事（学識経験者）： 高木 弘恵、高木 清秀、吉田 雅樹、岡谷 篤一、山口 淳
 監 事： 青木 修（常勤）、那須 國宏（非常勤）、澤田 忠男（非常勤）

4. 評議員に関する事項

当学園の平成 29 年 3 月 31 日までの選任区分別評議員は以下のとおりです。

寄附行為の評議員定数は、19~24 人で、欠員はありません。

- 1 号評議員（法人職員）： 高木清秀、山口 淳、石原 靖章、内山哲治
 水野武文、杉村邦彦、神谷 篤、天野雪代
 2 号評議員（学園卒業者）： 浅井明己、大石清美
 3 号評議員（学識経験者）： 高木重幸、井元明正、池田英二、竹内隆史 平本晴康
 渡邊哲郎、高木秀典、高木弘恵、原田隆史、大嶋啓介
 市橋 豊、杉山寿美、中川信子、志水暎子

なお、菊武幼稚園・園長二宮邦夫氏が平成 28 年 3 月 31 日付退職により 1 号評議員を辞任され、後任の園長に就任された石原靖章氏が平成 28 年 5 月 20 日付で 1 号評議員に就任されています。

また、高木武彦学園長が逝去後空席となっていた 3 号評議員には、平成 28 年 4 月 1 日付で元名古屋経営短期大学健康福祉学科・学科長の志水暎子氏が 3 号評議員に就任いたしました。

5. 教職員・その他に関する事項

名古屋産業大学の学長に理事長兼名古屋経営短期大学学長高木弘恵氏が平成 28 年 4 月 1 日付けで就任し、菊武幼稚園園長には、同日付で元尾張旭市立三郷小学校校長の石原靖章氏が就任いたしました。

II. 事業の概要

1.平成 28 年度の入学者数

平成 28 年度の入学者数は、大学は大学院も含めて 22 名の減、短大では 20 名の増、高校（全日制・通信制）で 49 名の減、幼稚園は 3 名の減、菊武ビジネス専門学校は 30 名の減、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院は 24 名の減で学園全体の入学者数としては、108 名の減少となりました。

平成 28 年 4 月の在籍者数は、大学は卒業生数が入学者数を上回り、中途退学も多く在学生数で 70 名の減、短大は 28 名の増となりました。高校（全日制・通信制）も 71 名の減、幼稚園は 2 名の増、菊武ビジネス専門学校は 14 名の減、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院は 12 名増となりましたが、学園全体の在学生総数は前年度より 113 名も少ない 3,187 名となりました。

2.平成 28 年度のその他の事業概要

【学園本部】

28 年度も例年のごとく、計 6 回の学園研修を実施しました。

4 月：「各部門の新年度の重点取組み」

6 月：スポーツ交流「バレーボール大会とノルディックウォーキングの実演」、

8 月：「菊武夏まつり」、

9 月：「保護者対応基礎～2 次クレームに発展させないために～」の講演、

1 月：「年始の挨拶・講演～芥川賞作家と読書について語ろう～」とぜんざいパーティー

3 月：「優良教職員の表彰と懇親会」

【名古屋産業大学】

大学では、25 年度から続く入学者数減という厳しい状況を踏まえ、ゼミ担当による面倒見のよい 教育の徹底、退学率の減少、インターンシップ参加率の向上、組織の簡素化と教職員の一体化、明るい校風づくりに取り組みました。

5 月：長期インターンシップ開始（尾張旭市役所、長野県阿智村）、

短期インターンシップ開始（中日ドラゴンズ、日本ワーキングホリデー協会、サントリービバレッジサービス、尾張旭市消防総務課、尾張旭市商工会、自衛隊瀬戸事務所など）、

100 円朝食（NHK,メーテレ、CBC,グリーンケーブルテレビで放映され、中日新聞にも掲載されました。）

6 月：尾張旭市・JA と連携した「田んぼアート」、

8 月：四短夏の大会交流会、「四短教職員合同 FD・SD 研修と懇親会

10 月：長期・短期インターンシップ（就業体験）合同報告会

12 月：四短合同ルミナ、社会人基礎力グランプリ（奨励賞受賞）

1 月：高大連携フォーラム

3 月：学内合同企業説明会、四短合同東北ボランティア」

課 外 活 動

- 5月：全日本女子学生ウェイトリフティング選手権大会において2年生の山本真鼓選手が58kg級で優勝し、五輪合宿の代表となる。全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会において4年生の服部智成選手が85kg級で3位に入賞。
第53回東日本ボウリング選手権大会では団体3位に入賞。
第15回西日本学生女子ウェイトリフティング大会において女子58kg級で山本真鼓選手が2位、女子75kg級で宮本真帆選手が3位に入賞。
- 8月：ボウリング部「全日本大学王座決定戦」で優勝、大学日本一に復活。
- 11月：全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会（全日本インカレ）で4年生の服部智成選手が85kg級で、2年生の前田翔哉選手が62kg級で銀メダルを獲得。
東京オリンピックに向けた日韓中合同大会のウェイトリフティング選手団に2年生の山本真鼓選手と大学院1年の山門正宜選手が選手として、職員の鈴木大智氏が指導者として参加し、山本真鼓選手が58kg級で3位、山門正宜選手が85kg級で2位に入賞。
- 12月：西日本スピードスケート競技会一般男子の部5,000mで高野晃生選手（1年）が優勝、3,000mと500mで山田拓夢選手（1年）が2位と5位に入賞、石垣賢汰選手（2年）は500mで6位に入賞。
環境教育プロジェクトチーム（教員6名、大学院生5名）が環境大臣表彰。

【名古屋経営短期大学】

短大では、就職率100%・資格取得率100%の質の向上、地域に開かれた教育活動、教職員連帯感の向上（3学科、教員と職員との連携）に取り組みました。

- 4月：「宿泊オリエンテーション」、「尾張旭市と連携したノルディックウォーキング大会（公民学連携あさひ健康フェスタとして中日新聞に掲載されました。）」、
- 5月：「100円朝食（NHK,メーテレ、CBC,グリーンケーブルテレビで放映され、中日新聞にも掲載されました。）」、
菊武コミュニティサロン・ミニデイサービス開始、学内合同福祉施設説明会（28団体参加）、ゼミ対抗ビーチバレーボール大会、名古屋市教育委員会と共催の「キャンパス連携講座」、
- 8月：四短夏の大会交流会、四短教職員合同FD・SD研修と懇親会、健康福祉学科夏のキャンプ、オーストラリア語学研修、
- 10月：尾張旭市旭ヶ丘自治体秋祭り出展
- 11月：介護の日イベント出展、健康気象セミナー参加、介護学び直し講座開催
- 12月：四短合同ルミナ、旭ヶ丘健康フェスタ参加、短大協会バレーボール大会出場（3位入賞）守山警察署と連携した交通安全運動、子ども学科クリスマスマーケット
- 1月：市民活動団体タウンミーティング、親子陶芸教室、介護技術セミナー開催
「学生プレゼンテーション・コンテスト」で最優秀賞と優秀賞を獲得
- 2月：尾張旭市内4保育園児を招き「保育演習発表会」を開催
- 3月：台湾・多文化保育演習の海外研修、学内合同企業説明会、四短合同東北ボランティア

【菊華高等学校】

28年度は、「躍進」をテーマに、学園の建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を実現するため、校訓の「誠実・創造・健康」を日々の学校生活の中で実践的に指導し、これからの時代を生き抜くため社会的・職業的に自立し、いろいろな事象や未知の事象に対して持てる力を最大限発揮して、主体的に解決していこうとする力をつけさせるため、基礎となる学力をしっかりと身に着けさせ、自ら学び、考え、正しい判断の基に行動できる豊かな人間性と心身ともに健康な生徒の育成に努め、生徒一人ひとりがもつ能力・適性・興味・関心を十分に把握して個性と能力を伸ばし、教職員が生活面の指導と教科面の学力向上に一致団結して取り組み、どのような逆境にも負けない精神力と、社会貢献ができる人材を育て、全ての生徒と保護者が満足する教育を推進しました。

重点取組

- 各教科を中心に生徒に対して「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさ」を感じさせられる生徒主体の授業づくりを目指し、教材研究に取り組みました。
- 集団生活を通して、社会人としての基本である規範意識・マナー・挨拶・言葉遣い・態度・服装等に常に注意を払うことを自らが自覚できる生徒指導をしました。また、自己の目標を実現させるために、学業や資格取得に主体的、積極的に取り組み、目標達成のため、普通科・情報ビジネス科及び各コースの魅力ある授業展開の中から特徴を強く打ち出し生徒募集に繋げられる教育を推進しました。
- 教員間の連携を密にし、特に「いじめ問題」については「いじめ防止対策委員会」を中心にその対応に当たり、何より事前の指導による防止に心がけ、誤った対応を取らないように、細心の注意を払った生徒指導に心がけ、起きた事象については正確でかつ詳細な記録を時系列で取るよう心がけました。
- 退学率については、数年前から徐々に下がってきていたが、前年度は多様な理由で上昇したので、今まで以上に、より生徒の動向や普段の行動を観察し、家庭の問題や生徒間のトラブルなどを早期に察知して不登校等を未然に防ぎ、退学・転学する生徒を減少させ退学率を下げる取り組みを推進しました。

主な学校行事

- 4月：1年生校外オリエンテーション合宿（車山高原）
- 5月：薬物講習会（1年生）、ICTタブレット使用模擬授業講習会
- 6月：STEP英検、全商電卓検定、漢字検定、全商簿記検定、秘書技能検定、日商簿記検定
- 8月：夏の体験会講座、15回目の中学将棋選手権大会
- 9月：文化祭、体育祭
- 11月：1・3年遠足、2年は修学旅行（沖縄）

課外活動

- 8月：サッカー部、全国高校サッカー選手権大会愛知県大会に出場。
ソフトボール部、名古屋市選手権大会と名古屋市民スポーツ祭で優勝。

ソフトテニス部、市民スポーツ祭で優勝。

ダンス部、全日本高校ダンスフェスティバルに出場。

全国ハイスクールダンスコンペティションでソレイユ賞を受賞。

9月：ソフトテニス部が名古屋北支部で団体優勝、サッカー部も名古屋北支部で優勝。

12月：ボクシング部金城隼平選手が東海大会で2位に入賞。

1月：守山文化小劇場でアクトコース3年生卒業公演。

スケート部の選手がフィギアでインターハイに出場。

箏曲部が愛知県高等学校文化連盟発表会に出場で優秀賞

200日間自転車無事故無違反ラリー達成で守山警察署長より表彰を受ける

3月：3年福祉コース卒業研修（蒲郡）を実施、箏曲部が「旭労災病院」で公演

【菊武ビジネス専門学校】

28年度は、【入口（渉外部）】、【中身（指導部、教務、学年）】、【出口（進路指導部）】それぞれに目標を掲げ、その達成に向けて全教職員一致団結して全力投球で取り組みました。

【入口（渉外部）】目標

高等課程 240人、専門課程 20人の入学者確保。

- ① 体験入学に親子で参加できる機会を増やし、より多くの保護者の来校を促す。
- ② 中学校の先生への認知度の向上（安心して学べる学校のアピールなど）。
- ③ 保護者の認知度の向上（ホームページのリニューアルなど）。

【中身（指導部、教務、学年）】目標

- ① ご近所の声。在校生の保護者、卒業生的心声を大切にする。
- ② 中学校の先生に落ち着いて過ごせる学校、面倒見の良い学校の評判を定着させる。
- ③ 保護者が安心して菊武に送ってくれるような学校づくり。

【出口（進路指導部）】目標

- ① 全員卒業式までに進路決定。就職 100%、学園内進学 50人。企業からの評判の良い学校。

主な学校行事

4月：1年生郡上オリエンテーション合宿、2・3年生校外学習（長島スパーランド）

5月：ちから館とくがわ訪問ボランティア、学校周辺清掃ボランティア（毎月行事の1回目）

6月：3年生集団面接指導、専門課程准教員資格取得講習会、PTA 上級学校訪問

7月：1年生水泳実習（名古屋スイミング）、映画鑑賞会（ウィルあいち大ホール）

8月：サマーキャンプ（あいち県民の森）

10月：愛専各卓球大会参加、なごやかまつり・ひがしボランティア、文化祭（学校内外）

11月：体育祭（愛知体育館）、2年生修学旅行（北九州）、

12月：3年生京都旅行、1年生校外学習（名古屋港水族館）、芸術鑑賞会（ウイルあいち）
スノーボードスクール（斑尾高原スキー場）

課 外 活 動

12月：全国専門学校卓球選手権大会の男子ジュニア・シングルで伊藤大地選手（3年）が優勝、左家成選手（1年）が準優勝、繁田蒼月夜選手（3年）と水野怜音選手（1年）の2人が3位に入り、男子ダブルスでも繁田・水野組が3位を獲得。

2月：名古屋商業高校で開かれた第23回愛知県高等学校ワープロ競技新人大会に出場し、10分間に入力した文字数を競う「ワープロ速度競技」で、2年生の太田好規さん、田中碧翔さん1年生の太田早紀さん、橋爪斗祐真さんが、それぞれ奨励賞を獲得したほか、1年生は団体でも奨励賞を獲得。

【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

28年度は、「美力向上」をテーマに以下の6項目に取り組みました。

- ① 学生収容数値目標 180名（B科 120名、F科 40名、TB科 20名）
- ② トータルビューティ科（TB科）の入学性増加
「DINAIR エアブラシメイク」の日本で唯一の認定校、LA研修（学費込）を売りに
- ③ ホームページの一新
見やすさ（情報量・情報入手）、利便性（OC申し込みページ）を主眼として
- ④ OCへの動員数増加
バスツアー実施回数を3回に、OCの日曜日実施（年間5回）を柱に
- ⑤ 重点エリアの渉外活動強化
名古屋・岐阜地区を中心に
- ⑥ 退学率の低下
今年度以降「5%」以下を努力目標に

主な学校行事・教育活動

4月：業界研究（ホテルウェディングを学ぶ）、校内企業説明会（ワオスタイル）
グリーンデザイン（星が丘テラス花壇植え込み）

5月：スポーツ大会、業界研究（フレンチのマナーを学ぶ、専門結婚式場の結婚式を式場で学ぶ）

6月：造園実習、模擬結婚式（3施設）、サービス接遇検定、色彩検定

7月：造園実習、模擬結婚式、ビジネス文書検定、造園技能士実技試験・要素試験、
フラワー装飾技能士2級・3級実技試験、パーソナルカラー検定

8月：模擬結婚式、エステティックコンテスト スチューデント部門 中部・北陸大会出場

9月：ガーデニング剪定実習、ビューティフード調理実習、造園実習（内々神社日本庭園見学）、
園芸装飾（東山植物園植物見学）、グリーンデザイン（星が丘テラス花壇植え込み）

10月：技能五輪全国大会（山形県山辺町）フラワー装飾部門出場 敢闘賞受賞

- 11月：屋外展示作品の制作等体験、グリーンデザイン（星が丘テラス花壇植え込み）
- 12月：パーソナルカラー検定、ドレスアドバイス（ホテルサービスの付加価値を体験する）
- 1月：本物の結婚式（第二富士ホテル）、星が丘テラス花壇デザインのプレゼンテーション
- 2月：卒業作品展（ナディアパーク）、秘書検定、美容ライト脱毛技術講習会、情報処理検定

【菊武幼稚園】

28年度も徳育・体育・知育の3つを軸に「仲良く遊ぶ子、心も体も強い子、よく見よく聞く考える子」ひいては「自身をもって小学校に進学できる子」を育てるため、〈感動ある行事の実現〉に取り組みました。

主な学校行事

- 5月：こどもの日の集い、身体測定、歯科検診、春の親子遠足（落合公園）
- 6月：避難訓練（地震・火災）、消火訓練、交通安全指導、ふれあい七夕まつり
- 7月：お楽しみ会、7月生まれ誕生会
- 8月：夏期特別保育、8月生まれ誕生会、菊武夏祭り参加
- 9月：避難訓練（地震・火災）、9月生まれ誕生会
- 10月：運動会、いもほり、春日井市民パレードへの参加、秋の遠足
- 11月：幼年消防クラブの発表、交通安全指導（横断歩道の渡り方）、11月生まれ誕生会
- 12月：生活発表会、クリスマス会、青空教室（年長）、12月生まれ誕生会
- 1月：新年子ども会、親子コンサート、交通安全指導、避難訓練、1月生まれ誕生会
- 2月：豆まき、「ふれあい参観」（作品展・お店やさんごっこ）、2月生まれ誕生会
- 3月：ひなまつりの集い、年長卒園遠足（名古屋市科学館）、誕生会、園児お別れ会

【稲葉保育園】

主な行事

「よく遊ぶ元気な子」を育てるため、〈自然とふれあい、元気になる遊び〉に取り組みました。

- 4月：入園式、内科検診、サッカーボールで遊ぼう、誕生日会、お花で遊ぼう
- 5月：こどもの日を祝う会、サッカーボールで遊ぼう、歯科検診、避難訓練、誕生日会
緑のカーテン種まき、体力測定「ヘキサスロン」、お花で遊ぼう
- 6月：田植え、サッカーボールで遊ぼう、眼科検診、保育参観（救急救命講習会・花で遊ぼう）、
体力測定「ヘキサスロン」、さつまいも苗付け、誕生日会
- 7月：七夕会、サッカーボールで遊ぼう、お花で遊ぼう、蝉捕り、誕生日会
- 8月：お楽しみ会（菊華高校生手作り紙芝居）、夏の演奏会（西中学校吹奏楽部）、
誕生日会、イルカショー（年長児）
- 9月：体力測定「ヘキサスロン」、交通安全教室、粘土で遊ぼう、サッカーボールで遊ぼう、
お花で遊ぼう、ふれあい会、イチジク畑見学、誕生日会
- 10月：サッカーボールで遊ぼう、運動会、稲刈り、抹茶会、芋掘り、遊びの広場、誕生日会
- 11月：焼き芋会、修園遠足、保育参観（おにぎりパーティー）、サッカーボールで遊ぼう、
お花で遊ぼう、誕生日会

- 12月：歯磨き指導、花もち作り（年長児）、サッカーボールで遊ぼう、クリスマスマーケット、誕生日会、お花で遊ぼう、クリスマス会、園外保育（さんさん農園）
- 1月：地元のお年寄りの指導で凧作り凧揚げ、サッカーボールで遊ぼう、粘土遊び（年長児）、陶芸遊び（年長親子）、お花で遊ぼう、誕生日会、防犯訓練、避難訓練
- 2月：体力測定「ヘキサスロン」、節分会（豆まき）、サッカーボールで遊ぼう、防犯訓練、身体測定、お花で遊ぼう、生活展、防火指導、災害訓練、誕生日会

1. 平成 28 年度の主な契約

学 園 本 部：NSS ビジネスガード加入契約

名古屋産業大学：マイクロソフト アカデミック更新契約、図書館標準サポートサービス契約、出欠情報取扱システム定額保守契約、体成分分析装置・姿勢測定器リース契約、消防用設備保守契約、冷暖房機器等保守契約、野球場サッカー場建柱工事契約、野球部寮増設工事請負契約、ガス需給契約、ガスヒーポン保守契約

名古屋経営短大：消防用設備保守契約

菊 華 高等学校：複写機メンテナンス契約、印刷機リース契約、募集用学校案内制作契約
学納金管理システム保守サービス契約、物品（iPad43 台）売買契約
北館棟 1・2・3 階西側トイレ改修工事請負契約、印刷機リース契約
物品（ノートパソコン 20 台）売買契約、菊武新寮外壁修繕工事請負契約
物品（ノートパソコン 11 台他 2 品）売買契約、物置設置工事請負契約
複写機リース契約、複写機保守サービス契約、ネットアイサービス契約
貨物（中古人工芝 120 巻）運送契約、
複写機（進路指導室）リース契約、複写機（進路指導室）メンテナンス契約、

菊 武 幼稚園：通園バス再リース契約、施設利用（知恵のワールド）契約

菊 武 ビジネス：4M シンクライアントシステム更新リース契約、印刷機リース契約
セキュリティ機器変更契約、システム保守契約

N W F B：エネルギー・マネジメント・保守契約、ウルトラプリントレンタル契約
物品（デスク 25 台、椅子 50 脚）売買契約、物品（PC 一式）売買契約
2 階女子トイレ改修工事請負契約、商品（PC15 台）売買契約

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

当年度の決算について、前年度決算と比較しながら若干の説明を付してその概況をご報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位：千円)

科 目	27年度決算	28年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,744,369	1,700,099	△44,270	短大・幼稚園・専門学校で在籍者増となったもののその他が在籍者減となり、トータルで収入減となりました。
手数料収入	24,806	26,719	1,913	
寄付金収入	13,314	6,282	△7,032	施設設備関係の特別寄付金がなくなり、減少しました。
補助金収入	809,310	579,210	△230,100	施設設備関係の国庫補助や地方公共団体補助が殆んど無くなり、トータルの補助金は大きく減少しました。
資産売却収入	200,000	200,000	0	
事業収入	27,196	19,687	△7,509	
受取利息・配当金収入	10,516	7,310	△3,206	
雑収入	46,935	118,837	71,902	県の介護人材確保事業による短大での職業訓練生の受入れが少なくなり減少しました。
前受金収入	451,651	455,679	4,028	
その他の収入	244,712	189,282	△55,430	
資金収入調整勘定	△559,738	△577,418	△17,680	定年退職者が多かったため、退職金財団よりの交付金が増えました。
当年度資金収入合計	3,013,070	2,725,687	△287,383	
前年度繰越支払資金	1,475,604	1,370,983	△104,621	2号基本金に係る大型設備投資がなく、引当特定資産の取崩が無くなったため減少しました。
収入の部合計	4,488,674	4,096,670	△392,004	

(資金支出の部)

(単位：千円)

科 目	27年度決算	28年度決算	差 異	
人件費支出	1,688,643	1,732,453	43,810	教職員人件費は23百万程減少しましたが、定年退職者が多く退職金支出が64百万程増加しました。
教育研究費支出	455,569	429,689	△25,880	
管理経費支出	212,061	199,064	△12,997	短大は、学生増で経費増となりましたが、それ以外の部門で経費節減努力が功を奏しトータルで減
借入金等利息支出	2,790	1,920	△870	
借入金等返済支出	133,313	115,657	△17,656	借入金等返済は、新規借入が無く、返済の進行で毎年度減少しています。
施設関係支出	377,637	131,043	△246,594	
設備関係支出	46,312	45,972	△340	
資産運用支出	200,302	220,066	19,764	前年度行った高校の校舎耐震化工事及び専門学校の建物 ZEB 化工事のような大型工事が無くなり大幅に減少しました。
その他の支出	84,511	108,520	24,009	
資金支出調整勘定	△83,446	△154,593	△71,147	高校耐震化のため2千万円の引当をしましたので増加しました。
当年度資金支出合計	3,117,691	2,829,792	△287,899	
次年度繰越支払資金	1,370,983	1,266,878	△104,105	26年度に比べ27年度は退職金の支払いが多かったため、前期末未払金支払支出が増加しました。
支出の部合計	4,488,674	4,096,670	△392,004	

(2) 活動区分資金収支計算書

		(単位 千円)	
科 目		金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	1,700,099
		手数料収入	26,718
		一般寄付金収入	6,282
		経常費等補助金収入	573,800
		付随事業収入	19,687
		雑収入	118,642
		教育活動資金収入計	2,445,228
	支出	人件費支出	1,732,453
		教育研究費支出	429,689
		管理経費支出	199,064
		教育活動資金支出計	2,361,206
	差引	84,022	
	調整勘定等	22,460	
教育活動資金収支差額	106,482		
施設設備活動	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	5,411
		施設設備等活動資金収入計	5,411
	支出	施設関係支出	131,043
		設備関係支出	45,972
		施設設備等活動資金支出計	177,015
	差引	△ 171,604	
	調整勘定等	42,110	
	施設設備等活動資金収支差額	△ 129,494	
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	△ 23,012		
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	有価証券売却収入	200,000
		受取利息・配当金収入	7,310
		過年度修正収入	195
		預り金受入収入	1,225
		特別研究特定預金より繰入収入	302
		仮受金受入収入	12
		長期貸付金回収収入	120
		保証金回収収入	6,750
		その他の活動資金収入計	215,914
	支出	借入金等利息支出	1,920
		借入金等返済支出	115,658
		有価証券購入支出	200,000
		高校耐震化引当特定預金へ繰入支出	20,000
		特別研究特定資産繰入支出	66
		預り金支払支出	8,311
		保証金支払支出	6,700
		仮受金支払支出	10
		その他の活動資金支出計	352,665
	差引	△ 136,751	
調整勘定等	55,658		
その他の活動資金収支差額	△ 81,093		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 104,105		
前年度繰越支払資金	1,370,983		
翌年度繰越支払資金	1,266,878		

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。				
(単位 千円)				
項 目	資金収支	教育活動	施設設備等活動	その他の活動
	計算書計上額	による資金収支	による資金収支	による資金収支
前受け金収入	455,679	455,679	0	0
授業料 前受金 収入	212,489	212,489	0	0
入学金 前受金 収入	136,261	136,261	0	0
施設充実費前受金収入	38,060	38,060	0	0
その他の前受金 収入	68,869	68,869	0	0
前期末未収入金 収入	180,872	77,349	47,866	55,657
資金収入調整勘定	△ 577,418	△ 573,827	△ 3,591	0
期末 未収入金	△ 125,777	△ 122,186	△ 3,591	0
前期末 前受金	△ 451,641	△ 451,641	0	0
収 入 計	59,133	△ 40,799	44,275	55,657
前期末未払金支払支出	66,607	66,607	0	0
前払金支払支出	4,463	4,463	0	0
期末長期未払金支払支出	22,428	0	22,429	0
資金支出調整勘定	△ 154,592	△ 134,329	△ 20,263	0
期末未払金	△ 130,343	△ 130,343	0	0
期末長期未払金	△ 20,263	0	△ 20,263	0
前期末 前払金	△ 3,986	△ 3,986	0	0
支 出 計	△ 61,094	△ 63,259	2,166	0
収入計 - 支出計	120,227	22,460	42,109	55,657

事業活動収支計算書

事業活動収支計算について資金収支計算と重複する部分は省略し、資金収支計算で説明していない部分の説明を加えてその内容をご報告いたします。

(単位：千円)

		科 目	27年度決算	28年度決算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学制生徒等納付金	1,744,369	1,700,099	△44,270	試験料、照明手数料は減少しましたが、入学検定料がふえました。
		手数料	24,853	26,755	1,902	
		寄付金	5,070	7,312	2,242	現物寄付が倍増、一般寄付も1.5倍増
		経常費等補助金	638,090	573,799	△64,291	在籍者数減で国庫補助金が20百万円の減、地公体補助金が43百万円の減となりました。
		付随事業収入	27,196	19,687	△7,509	
		雑収入	41,834	118,718	76,884	
				教育活動収入 計	2,481,412	2,446,370
教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	1,696,045	1,714,843	18,798	退職者が多く退職金関係支出が増え、教管経費節減努力を相殺してしまいました。
		(うち退職金関係)	(56,145)	(95,437)	(39,292)	
		教育研究経費	698,510	692,333	△6,177	前年度に行った高校の耐震化工事と専門学校のZEB化工事により減価償却費が増加しましたが、経費節減努力により教管経費は減少しました。
		(うち減価償却費)	(242,816)	(262,515)	(19,699)	
		管理経費	239,165	229,249	△9,916	
		(うち減価償却費)	(27,065)	(30,158)	(3,093)	
		徴収不能額等	364	364	0	
		教育活動支出 計	2,634,084	2,636,789	2,705	
教育活動収支差額			△152,672	△190,419	△37,747	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	10,516	7,310	△3,206	低金利政策下安全・有利な資金運用は難しく、受取利息・配当金が減少してしまいました。
		教育活動外収入 計	10,516	7,310	△3,206	
	支出の部	借入金等利息	2,790	1,920	△870	借入金が返済一方のため支払利息も減少一方です。
		教育活動支出 計	2,790	1,920	△870	
教育活動外収支差額			7,726	5,390	△2,336	
経常収支差額			△144,948	△185,029	△40,083	
特別収支	収入の部	その他の特別収入	188,057	6,708	△181,349	前年度は、高校の耐震化工事、専門学校の空調機更新に併せた建物ZEB化工事で多額の国庫補助金をいただきましたが、今年度はそういった大型工事がなく施設設備関係補助金が大幅減。
		特別収入 計	188,057	6,708	△181,349	
	支出の部	資産処分差額	8,941	15,817	6,876	高校のトイレ改修工事で未償却工事の処分損が発生し、また、菊武ビジネスで固定資産計上対象のリースPCを1年分未償却のまま更新したため処分損が発生したため増加しました。
		その他の特別支出	36	0	△36	
		特別支出 計	8,977	15,817	6,840	
特別収支差額			179,080	△9,109	△188,189	
基本金組入前当年度収支差額			34,134	△194,138	△228,272	固定資産投資は例年より多い257百万ほどありましたが、資産除却△119百万、4号基本金修正△40百万などがあって大幅減。
基本金組入額合計			△189,575	△91,782	97,793	
当年度収支差額			△155,441	△285,920	△130,479	

(3) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度末からの増減の主なものの説明を付してご説明いたします。

(単位：千円)

科 目		27年度決算	28年度決算	差 異	
資 産	固定資産	13,134,885	13,025,007	△109,878	有形固定資産は大型投資が一段落し、減価償却が新規取得を上回ったため簿価減少。
	有形固定資産	11,099,183	10,972,836	△126,347	
	特定資産	2,009,639	2,029,403	19,764	高校の校舎耐震化工事のため 2号基本金引当特定預金を積み立てたため増加。
	その他の固定資産	26,063	22,768	△3,295	
産	流動資産	1,617,824	1,458,822	△159,002	愛知県私立高校授業料軽減借入金償還補助金(未収入金)の逦減に加え、補助対象外のトイレ改修工事を自己資金で行ったため減少。
合 計		14,752,709	14,483,829	△268,880	

科 目		27年度決算	28年度決算	差 異	
負 債	固定負債	582,387	506,156	△76,231	長期借入金△56百万、退職給与引当金△18百万、長期未払金△2百万
	流動負債	782,682	784,171	1,489	
計		1,365,069	1,290,327	△74,742	今年度は期末退職者(退職金は翌月払)が多かったため未払金が64百万増、短期借入金59百万減、前受金4百万増、預り金7百万減で合計2百万ほど増加しました。
基 本 金		17,789,484	17,881,266	91,782	1号基本金112百万増、2号基本金20百万増、4号基本金40百万減。
事業活動収支差額の部合計		△4,401,844	△4,687,764	△285,920	
合 計		14,752,709	14,483,829	△268,880	

(参考)

正 味 資 産	13,387,639	13,193,502	△194,137
---------	------------	------------	----------

※ 正味資産＝資産－負債(＝基本金＋事業活動収支差額)

減価償却額の累計額	6,793,071	6,972,160	179,089
-----------	-----------	-----------	---------

1. 借入金の状況

当学園の借入金は下表のとおりです。22年度より愛知県私学振興事業財団から新規の授業料軽減借入をすることがなくなり、授業料軽減借入金は毎年減少していきませんが、菊華高校で授業料軽減借入金として¥44,107,822の借入残を有しております。しかし、この授業料軽減借入金は、償還に要する財源を愛知県から授業料軽減借入金償還補助金及び施設設備整備費借入金償還補助金として全額補填を受けることになっておりますので学園としての返済負担は発生しないものです。

(借入金明細表)

(単位：千円)

借 入 先	27年度末残高	28年度末残高	増 減	摘 要
日本私立学校振興・共済事業団	180,000	120,000	△60,000	キクケスポーツビルズ取得資金
愛知県私学振興事業財団	99,765	44,108	△55,657	愛知県より全額補填あり
合 計	279,765	164,108	△115,657	

2. 学校債の状況

当学園は、学校債を発行いたしておりません。

3. 寄付金の状況

当学園に対する寄付金は 27 年度 16,643 千円でありましたが 28 年度は 8,415 千円となりました。一般寄付金が 2,243 千円増加しましたが、施設設備関係寄付が 10,471 千円減少したため、寄附金としては、8,228 千円減少しました。

IV. 決算期後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当する事実はありません。

V. 対処すべき課題

「2018 年を間近に控え、年々厳しくなる学生・生徒・園児募集にどれだけ成果を挙げられるか？」言い換えれば「各部門が収入を安定的に確保し自立すること」が対処すべき最優先課題であることに変わりありません。特に大学・短大で入学者を確保することが喫緊の課題です。